科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／ドイツ語表現演習6 (Seminars in German 6)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	小論文		
担当者名 (Instructor)	吉田　治代(YOSHIDA HARUYO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2 年次生はプレイスメントテストの受験が必要		

授業の目標(Course Objectives)

これまでに学んだドイツ語の知識に基づき、卒業論文のドイツ語要約(Resümee)を作成できる論述文(diskursiver Text)作成の高度な知識とスキルの獲得をめざす。

In this class, based on German language skills students have learnt, students will learn and acquire advanced skills to write discursive texts (i.e. diskursiver Text), essential when writing graduation thesis summary (i.e. Resümee) in German.

授業の内容(Course Contents)

授業では、「文段(パラグラフ)＝論述文の基本単位」という発想をもとに課題を設定し、その課題について受講者全員に作例を作成・提出してもらう。その上で提出された作例を具体的に検討してゆく。毎週の作例提出(授業前々日までに提出)が履修の前提となる。

The class assumes each paragraph as a basic unit of diskursiver Text. Everyone will create and submit their works on the topic. In addition, submitted works will be discussed in detail. Each week students must submit their works.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンスと導入:論述文とは何か・文段(パラグラフ)とは何か
2. 論述文の発想:作例検討(1)
3. 論述文の発想:作例検討(2)
4. 論述文の構造:作例検討(3)
5. 論述文の構造:作例検討(4)
6. 論述文の語彙:作例検討(5)
7. 論述文の語彙:作例検討(6)
8. 論述文の論理:作例検討(7)
9. 論述文の論理:作例検討(8)
10. 論述文の修辞:作例検討(9)
11. 論述文の修辞:作例検討(10)
12. 総合:作例検討(11)
13. 総合:作例検討(12)
14. 総括と展望

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

受講前に「ドイツ語入門」と「ドイツ語基礎演習」の教材を復習し、特に文法知識を確実なものとしておくこと。また、毎回全員が作例の作成と事前提出を義務づけられているので、これが予習となる。第 1 回の授業の前に、Blackboard で指示される注意事項等を必ず読み、指示に従って事前の作業をしておくこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(30%)/出席と作文課題(70%)
正当な理由なく 3 回を超えて欠席した場合、成績評価の対象としない。

テキスト(Textbooks)

授業の作例課題は事前に Blackboard にアップする。また必要に応じてプリントを配布する。

参考文献(Readings)

参考文献は授業中に指示する。各自独和辞典(紙媒体)を購入して使用することを強く勧める。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

作例提出や授業に関する連絡は原則として Blackboard を通して行うので、毎週最低1回は必ず該当のサイトを確認すること。

注意事項（Notice）